

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果	
生活技術	西川 光子	講義	2		2	1	1, 2, 3, 4	
授業概要 授業目的	<p>・人間生活の基盤である衣・食・住における知識と技術を習得することで、健康で快適な、環境に配慮した生活を営むための実践的・創造的能力を養う。</p> <p>・日々の生活の中で、私たちはどんな材料からできた衣類を着用し、何を食べ、どんな環境で過ごしているかを理解し、より健康で安全な生活を営むための、生きる力を養うことを目的とする。</p>							
到達目標	<p>①健康で安全な衣・食・住生活を送るための知識を身につける。</p> <p>②自分の生活を振り返り、改善点を見つけ実践する。</p> <p>③環境に配慮した衣生活のための基本的技術を習得する。</p>							
回	学習内容							
1	家庭生活の理解(1)	・家庭生活とその変遷						
2	家庭生活の理解(2)	・家庭生活と消費生活						
3	食生活の基本知識	・栄養の理解、食品の購入と選択						
4	食生活の検証							
5	安全で快適な住環境とは							
6	住まいの管理(1)	・清掃と手入れ						
7	住まいの管理(2)	・安全・安心な住まい						
8	被服の基本知識	・被服の素材						
9	被服の管理(1)	・洗濯と保管						
10	被服の管理(2)	・しみ抜きの方法						
11	家庭で必要な裁縫技術(1)	・裁縫道具の使い方						
12	家庭で必要な裁縫技術(2)	・ボタン付け、スナップ付け						
13	ファスナーを付けた作品製作							
14	アップサイクルでマスク製作(1)	・目的と計画						
15	アップサイクルでマスク製作(2)	・製作と評価						
予習内容 復習内容	<p>予習：配布する資料に目を通す。</p> <p>復習：授業内容の整理と実生活への応用と実践について考える。</p>							
教科書	教科書は使用しない。資料を配布する。参考文献については授業の中で紹介する。							
成績評価	授業に取り組む姿勢(20%)、レポート課題(50%)、作品提出(30%)により総合的に評価する。毎回出席をとる。全授業回数の3分の2以上の出席が無い場合、評価の対象外とする。							
実務経験								
その他 特記事項	作品製作において、材料を一部用意していただきます。							